



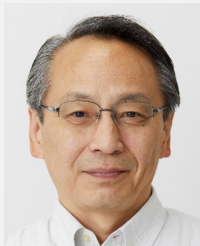
今月の トピックス

～ 年頭のご挨拶 ～

明けましておめでとうございます。
JCOGデータセンター長の福田です。

恒例により新年のご挨拶をさせていただきます。元旦早々の能登半島地震に驚いている間に、能登への救援物資を輸送中の海保機の事故と、痛ましいニュースが続くたいへんな年明けとなってしまいました。

能登の被害の全容は未だ明らかになっておらず被災地の孤立やライフラインの途絶など依然震災は現在進行形です。被災された方々並びに救助・復旧にご尽力されておられる方々へ衷心よりお見舞い申し上げます。



福田 治彦

落ち着いた年始ではありますが昨年を振り返ってみます。5月はじめに新型コロナが第5類に移行して世の中的には「平時」に戻った感がありましたが、国がん中央病院ではコロナ病棟も継続、マスク着用、面会制限、職場単位の飲食禁止等の感染対策も、やや緩和されたものの現在なお継続中で元通りとは言えません。感染予防には努めつつコミュニケーションを保つ努力をしていくしかないと思います。グループ班会議は、秋頃から現地開催も徐々に増え、face-to-faceの議論の重要性が再認識されつつあるところかと思えます。活発な議論の場の復活が待たれます。

JCOG全体としての患者登録は一昨年以上に好調で、年間登録数は一昨年の3,451例をさらに上回り、3,793例でした。ご尽力いただいた参加施設の先生方に厚く御礼申し上げます。データセンター/運営事務局reviewありの論文も、一昨年の34本を上回り50本に上りました。昨年、年始に既にアクセプトされていた、肝胆膵グループのJCOG1202「根治切除後胆道癌に対する術後補助療法としてのS-1療法の第III相試験」の主たる解析論文(筆頭著者: 仲地耕平先生)が1月にTHE LANCETに掲載され注目を集めました。

診療ガイドラインへの掲載は、肺がん外科グループ5件(JCOG0802/WJOG4607L×3、JCOG0804/WJOG4507L、JCOG1205/1206)、リンパ腫グループ4件(JCOG0203、JCOG0601、JCOG0904、JCOG1305A)を含む計13件が新たに採択され、累積では173件となりました。

例年、JCOG総合班会議で注意喚起してきた、未回収CRFや問い合わせ回答等のCRFパフォーマンスも、一昨年に乳がんグループが始めた「未回収CRF撲滅キャンペーン」を脳腫瘍グループと大腸がんグループが追随し、JCOG全体として改善傾向が見えてきました。今年の年末にはさらなる改善が期待されます。JCOG-HQ内の変化としては、運営事務局長が7月から中村健一から片山宏に交替となりました。

新しい取り組みとしては、データセンターでデータマネジメントを内製化する第1号となった脳腫瘍グループの医師主導治験JCOG2104「初発中枢神経系原発悪性リンパ腫に対する二重盲検ランダム化第II相医師主導治験」がようやく9月に登録開始となりました。JCOG初のプラットホーム試験である乳がんグループの医師主導治験JCOG2205も予定よりは遅れていますが年度明けには開始できる見込みです。お待たせしておりますJCOG-BBJ連携拡張バイオバンクも年度明け始動見込みです。一昨年から取り組んでいる患者参画委員会の「Lay Summary」もリンパ腫グループJCOG1305に続いて、胃がんグループJCOG1704、乳がんグループJCOG1017、婦人科腫瘍グループJCOG1101、肺がん内科グループJCOG1404で作成・公開し、PPI-Japanなど、他組織からも注目されました。広報活動としては、6月にJCOGウェブサイトをリニューアルし、スマートフォンやタブレット対応となり、研究用ツールのまとめ、「数値で見るJCOG」の新設、患者さん/一般向けページの充実などを行いました。m3.comの連載は、最近の論文・学会発表の内容を動画で紹介する「JCOG QuickTake」と、研究事務局の先生に苦労話も含めたJCOG試験の紹介を文書でいただく「JCOG試験の道のり」の2つのシリーズとして継続しており、いずれも好評をいただいています。

臨床研究法対応や先進医療調整事務局業務等の地味ながら従来からの堅実な取り組みの継続に加えて新しい取り組みが実を結び、過ぎてみれば甲辰(きのえたつ)に相応しい発展の年だったと振り返れることを祈念して新年のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

JCOGデータセンター長 福田 治彦

JCOG学会発表情報 ASCO Gastrointestinal Cancers Symposium

Gastrointestinal Cancers Symposium 2024/1/18~20

- JCOG1314(食道がんグループ)
対馬 隆浩 先生 静岡県立静岡がんセンター
- JCOG1409(食道がんグループ)
竹内 裕也 先生 浜松医科大学医学部
- JCOG2014(大腸がんグループ)
佐竹 悠良 先生 高知大学 医学部
- JCOG1213S2(肝胆膵・食道がん・胃がんグループ)
平野 秀和 先生 国立がん研究センター中央病院
- JCOG2206(食道がんグループ)
松田 諭 先生 慶應義塾大学医学部
- JCOG2204(胃がんグループ)
中山 巖馬 先生 がん研有明病院
- JCOG1907A1(胃がんグループ)
藤谷 啓一 先生 静岡県立静岡がんセンター
- JCOG1013A1(胃がんグループ)
平野 秀和 先生 国立がん研究センター中央病院

JCOG研究に関わる研究結果やイベント情報など最新情報を発信しますので、ぜひフォローしてくださいね！

Twitter ユーザーネーム: @JCOG_official URL: https://twitter.com/JCOG_official/

Facebook ページ URL: <https://www.facebook.com/JCOG.official>

JCOGウェブサイトのトップページからも関連ページへアクセスいただけます。

2023年表彰者



毎年12月に開催されるJCOG総合班会議
そのプログラムの中で、貢献が大きい研究者を講えて
各種の表彰を行っています。

◆JCOG下山正徳賞

2022年12月～2023年11月まで
に開催された主要な国際学会に
て発表されたJCOG研究のうち、
がん治療の進歩にもっとも貢献
したと認められた発表を行った
研究者に贈られます。



大場 彬博先生: 国立がん研究センター中央病院
(JCOG1611研究事務局/肝胆膵グループ)

※下山正徳先生: 初代JCOG代表者

◆Best Study Coordinator賞

データマネージャーが選ぶ賞で、
研究への貢献度などからこの
1年間でもっとも感謝の意を表したい
研究事務局の先生に贈られます。



白石 祥理先生: 九州大学病院

(JCOG2007研究事務局/肺がん内科グループ)

◆JCOG笹子三津留賞

手術に関するもっとも優れた
エビデンスを発信したと
認められた研究者に贈られます。



枝園忠彦先生: 岡山大学病院
(JCOG1017研究事務局/乳がんグループ)

※笹子三津留先生: 初代JCOG胃がんグループ代表者

◆Most Active Physician Award 2023

JCOG試験への年間登録数をもっとも多かった研究者に
JCOGデータセンター長/運営事務局長から贈られます。

宮田義浩先生: 広島大学病院/肺がん外科グループ

年間登録数: 42

受賞されたみなさまおめでとうございます。

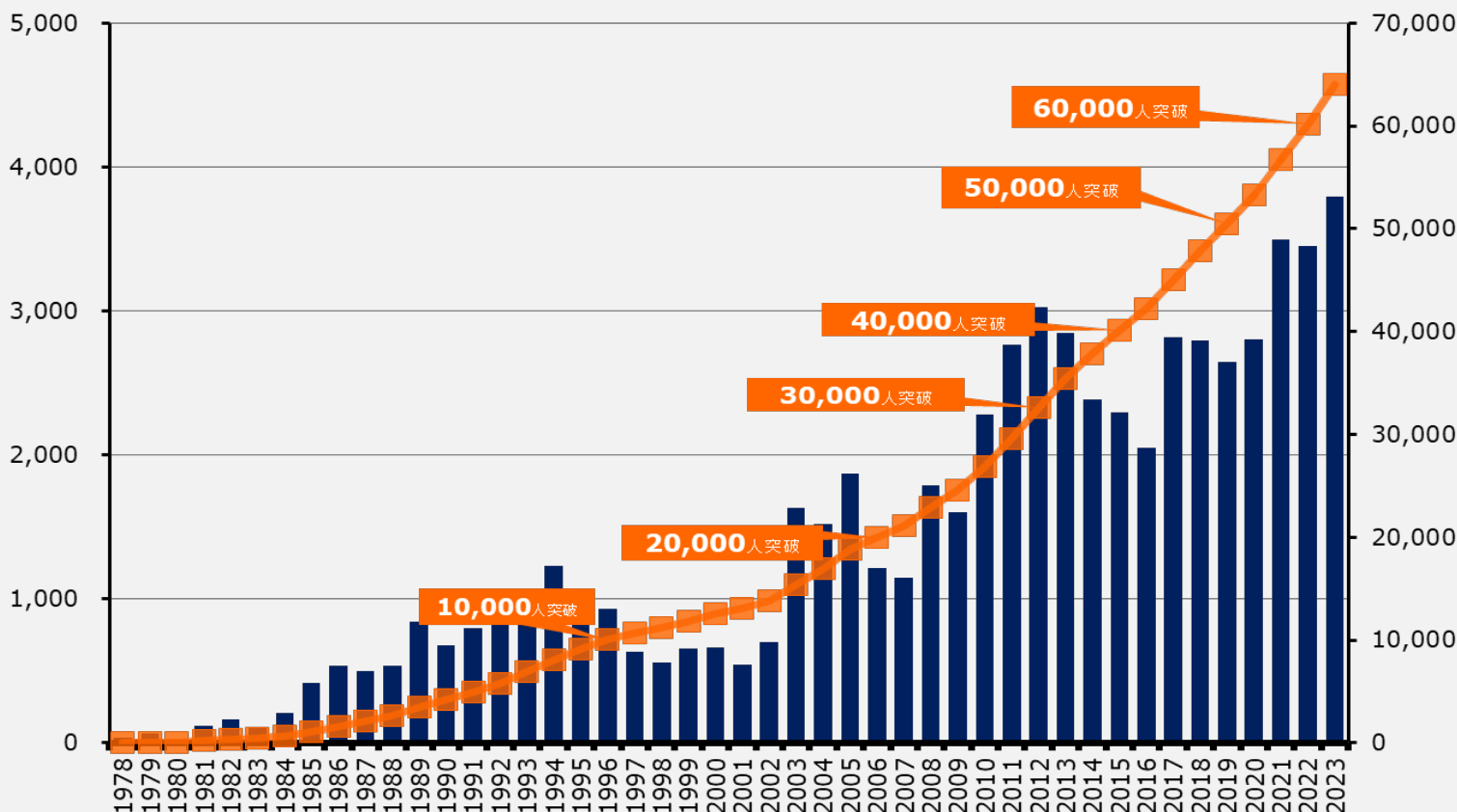
今後とも最善の医療確立のために、JCOG臨床研究へのご協力のほどよろしくお願いいたします。

これまでの各賞の受賞者は[JCOG ウェブサイト](#)からご覧いただけます。

JCOG累積登録患者数 1978年～2023年

JCOG臨床試験に登録された患者さんが **64,000**名を超えました

JCOGは1978年の研究班設立以来、新しい治療法の開発や検証的試験の実施を通じて、科学的証拠に基づいて患者に第一選択として推奨すべき治療である標準治療や診断方法等の最善の医療を確立することを目的として研究活動を行っています。



研究者情報の変更、医療機関情報の変更がある場合は、下記のサイトの手順に従ってご申請ください

<研究者情報変更> https://jcoг.jp/doctor/todo/researcher/registration_r/

<医療機関情報変更/施設情報変更> https://jcoг.jp/doctor/todo/researcher/registration_f/

FAQ

よくある質問はこちら

JCOG研究の論文公表



◇ 肝胆膵グループ JCOG1917A 今岡 大先生

<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/38057434/>

Development of a nomogram to predict survival in advanced biliary tract cancer, Scientific Reports, 2023 Dec 6, Online ahead of print

◇ 食道がんグループ JCOG2206デザインペーパー 喜多 亮介先生

<https://academic.oup.com/jjco/advance-article/doi/10.1093/jjco/hyad150/7330489>

Protocol digest of a randomized controlled Phase III study comparing surgery alone versus adjuvant nivolumab versus adjuvant S-1 for locally advanced oesophageal squamous cell carcinoma with no pathological complete response after neoadjuvant chemotherapy followed by curative esophagectomy: Japan Clinical Oncology Group study JCOG2206 (SUNRISE Trial), Japanese Journal of Clinical Oncology, 2023 Oct 26, Online ahead of print

◇ 肺がん内科グループ JCOG1710A 武井 秀史先生

<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/37600227/>

Prospective, Multi-Institutional Observational Study of Deterioration in Activities of Daily Living in Elderly Patients After Lung Cancer Surgery, JTO Clinical and Research Reports, 2023 Jul 17, Online ahead of print

担当医別月間登録数



◇ 肺がん内科グループ(月間登録数:2)

小林玄機先生/静岡県立静岡がんセンター

◇ 肺がん外科グループ(月間登録数:2)

宮田義浩先生/広島大学病院

青景圭樹先生/国立がん研究センター東病院

坪井正博先生/国立がん研究センター東病院

重松久之先生/国立病院機構四国がんセンター

上野剛先生/国立病院機構四国がんセンター

塩野知志先生/山形大学医学部

鈴木健司先生/順天堂大学医学部附属順天堂医院

◇ 胃がんグループ(月間登録数:4)

徳本憲昭先生/広島市立北部医療センター安佐市民病院

◇ 食道がんグループ(月間登録数:2)

前田直見先生/岡山大学病院

羽田綾馬先生/浜松医科大学

◇ リンパ腫グループ(月間登録数:3)

牧山純也先生/佐世保市総合医療センター

◇ 大腸がんグループ(月間登録数:6)

高山祐一先生/大垣市民病院

◇ 泌尿器科腫瘍グループ(月間登録数:2)

加藤学先生/愛知県がんセンター

◇ 肝胆膵グループ(月間登録数:2)

長井和之先生/京都大学医学部附属病院

大場彬博先生/国立がん研究センター中央病院

青木修一先生/東北大学病院

吉岡伊作先生/富山大学附属病院

◇ 頭頸部がんグループ(月間登録数:2)

濱本隆夫先生/広島大学病院

(担当医別最多登録数が1例のグループは割愛しています)

グループごと月間登録数



登録数月次レポート

<https://secure.jcog.jp/DC/DOC/member/report/index.html>

グループ	10月	11月	12月	合計
大腸がん	75	78	69	222
肺がん外科	51	48	44	143
胃がん	34	38	37	109
肝胆膵	41	31	31	103
肺がん内科	28	18	22	68
食道がん	27	23	21	71
リンパ腫	16	10	14	40
放射線治療	18	11	7	36
頭頸部がん	9	14	9	32
乳がん	3	5	6	14
泌尿器科腫瘍	10	7	18	35
脳腫瘍	11	13	8	32
消化器内視鏡	4	13	8	25
皮膚腫瘍	8	6	0	14
骨軟部腫瘍	1	4	1	6
婦人科腫瘍	0	0	0	0
合計	336	319	295	950



JCOGデータセンターより

● 2023年12月の登録は295例、2023年は年間3,793例でした
過去最多の2021年の3,496例を上回りました。
3年連続3,000例の大台を達成しました。
お忙しいところ、沢山のご登録ありがとうございました。

